

第一期

中期経営計画 2022

令和4年（2022年）～令和8年（2026年）

2022年度 概要版

令和4年4月1日発行



社会福祉法人
椎原寿恵会

目次

中期経営計画の策定にあたり.....	3
理事長挨拶	3
創設者（真心の園初代園長）の想い	4
会長の想い	5
事業の変遷	6
法人理念と将来ビジョン.....	7
法人の基本理念	7
将来ビジョン	7
経営改善の方向性	8
法人の事業.....	9
事業の規模	9
事業所・連携医療機関一覧	10
第一期中期経営計画 2022～2026.....	12
骨子	12
重点事業計画	14
組織体制（令和4年4月1日）	15
法人5カ年収支計画	17

中期経営計画の策定にあたり

理事長挨拶

社会福祉法人 椎原寿恵会
理事長 中川原 章

かつて、社会福祉法人寿恵会・特別養護老人ホーム「真心の園」の創設者である中川原寿恵子は、50年後に日本は大変な高齢化社会を迎える、そのための準備を今からしておかなければならない、と口癖のように言い、自ら東京の特養の現場に寝泊まりして、そのノウハウを佐賀に持ち帰りました。そして、昭和44年（1969年）に鳥栖市に開設したのが「真心の園」でした。

国はすでに昭和38年に「老人福祉法」を制定しており、昭和45年には「社会福祉施設緊急整備5ヵ年計画」を策定しましたが、本格的に「老人保健法」を制定したのは昭和57年でした。その後、平成12年に「介護保険法」が施行され、世界のどの国も経験したことのない、来るべき日本の超少子高齢化社会を見据えて、「新たな介護制度」が開始されました。しかしながら、団塊の世代が後期高齢者になる2025年が一つの対策目標となったものの、この間にわが国の平均寿命、健康寿命は大幅に延伸し、現在では、85歳以上の人口が増加する2040年が次の大きな対策目標年となってきています。また、医療の進歩と、革命的とも言える技術革新の到来により、人生100年の健康長寿社会の実現も視野に入るようになり、（地域）社会の構造変革までも求められるようになってきました。

この激変する時代の波を乗り越えるため、平成20年（2008年）、佐賀と鹿児島との2つの社会福祉法人（寿恵会、椎原会）が合併し、「社会福祉法人 椎原寿恵会」が発足しました。組織は、大きいほど世の中の激動に耐えられる、との考え方でしたが、現在では、佐賀に15事業所、鹿児島に12事業所を有する法人となり、さらに協力医療機関として、鳥栖に「まごころ医療館」、鹿児島に「有馬病院」を有する一大グループ（まごころグループ）となっています。

折しも、平成26年に「医療・介護一体改革法」が成立し、いよいよ医療保険制度と介護保険制度が一体的に運用される時代に入りました。このため、国は介護の現場にも、デジタル化による効率化とエビデンスに基づくG-PDCAサイクルの導入を求め、医療と介護の膨大な現場情報を国に集約させ、ビッグデータ解析に基づいて改革の方向性を決める方針を打ち出し、それが今年度から始まった介護における「LIFE」として、私たちの介護現場で、すでに始まっています。

椎原寿恵会は、現在もなお健全経営を維持していますが、令和4年度から、当法人では初めての第1期中期経営計画（5ヵ年計画、3年目に大幅見直し）を策定することとしました。計画では、ビジョン、ミッション、経営改革の方向性等を明確にし、事業所毎の計画は施設長（管理者）が自ら作成し、理事長との協議を経て最終案としました。もちろん、この策定には、職員全員が同じ方向を向き、同じ考え方を共有し、自覚と責任を持って共に改革を進めよう、というメッセージが込められています。

未来を見つめ、地域包括ケアの構築を軸としたわが国の医療・介護改革の方針に沿い、椎原寿恵会（まごころグループ）は、率先してその改革を進めていきたいと思えます。54年前の「真心の園」創設者が願った「慈母観音の心」を以って、高齢者、保育園児、障がい者など、社会の弱者のために奉仕し、ともに共生して、それぞれの人が拓生の域に達することができる様、職員が一丸となって支え、頑張っていきたいと思います。

創設者（真心の園初代園長）の想い

（昭和54年、真心の園10周年記念誌「まごころ—10年のあゆみ—」より抜粋）

10周年を迎えて思う

園長 中川原 寿恵子

～（省略）～

昭和35年に46歳で主人は老母と幼い子供を残して他界しました。私には、夫の最後の言葉「おばあちゃんを頼むよ」そして「おとしよりを大切にしてくれ」これが今でも耳に残っています。

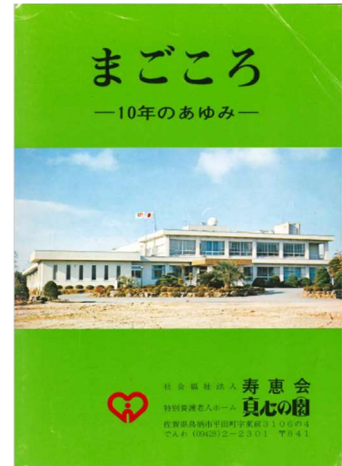
姑の悲しみの中で、子供達はすくすくと育って行きました。然し、一人息子を亡くした老母の悲嘆は深くなるばかりです。1年後に、姑は一人息子の後を追う様にして脳溢血のため78歳で他界しました。後に残った私は、嫁として姑に何を尽くしたと言えるでしょうか。その淋しさ悲しさを思いやる余裕がなかったと言えばそれは弁解にしかすぎません。この悔恨は長い間私を苦しめました。然しよく考えますと母の影の薄さは私の姑だけの問題ではありません。世間は勿論、家庭の中でも取り残され置き忘れられたようなおとしより、生き甲斐も居甲斐もない御老人、これは他人事ではありません。私自身のことだと気付いた時、私は愕然としました。地位や権力、加えて経済力、健康さえも失われたおとしより、御老人の存在価値は何であろうか。それでも老人は喜び怒り悲しみながら生きて行く、それは老人の粹をこえた人間の姿であり、人間らしい感情で生きていくのを思う時、私はじっとして居られない気持ちになりました。

毎晩その日の仕事が終わりますと、私は老人問題の本をむさぼる様に読み始めました。「老人とは」「死とは」この問いかけは結局「人間とは何か」の大きな壁につきあたりました。読書だけでは解決できないことを悟り知った私は、あちこちの老人ホームの見学と実習に東奔西走しました。この中で一番印象的で私の心を動かしたのは、やはり、ねたきり老人の問題でした。「綺麗に老いる愛される老人」などの言葉がありますが、現実はそのような甘いものではありません。世間からは勿論のこと、家族からさえ敬遠され、疎外され、孤独の中で呻吟し、終には痴呆老人となっていく人々が如何に多いかを知るや、私は地元の方々の御好意により敷地を譲って頂きまして、特別養護老人ホームの開設を決意しました。

～（省略）～

あれからもう10年もたちました。この10年間も決して平坦な途ではありませんでした。このなやみ、苦しみ、悲しみ、時には自分自身の無力に対する憤り、それでも耐えて来たものは「初心不可志」と云う、おとしよりに対する同悲の心でありました。おとしよりの身寄りのない、いや、見放された不安と不満、明日への期待のない孤立的な心情、これが38歳で孤立させられた私には痛い程分ります。共に手を取りあって互いに涙を拭いあい、時には笑いあって生きたいとの初心、これこそ私の願心であります。

今後はますます高齢化社会が進むと言われます。そこで老人の扶養が先ず問題になります。この場合、人々はすぐ経済的問題を考えます。それは一面正しいと思いますが経済的問題より以上に「如何に精神的扶養をするか」が重要であると私は思います。いいかえれば、おとしよりは心を中心にして真心をもって接する事こそ私の初心でございます。私の短い10年間の期間からおとしよりの最も大切なもの、切実に求めているものは母性愛でした。母はどんなにおこられても信じられます、又あまえられます。この母の愛情こそ真心の園の悲願として、私の命あるいや来世も来々世も永劫に精進したいと念願して居ります。慈母観音の心でおとしよりを包みたいと思います。



会長の想い

社会福祉法人 椎原寿恵会
会長 中川原 三和子

令和3年6月をもって社会福祉法人理事長を退任し、7月から中川原章新理事長にバトンタッチいたしました。昭和44年5月1日に開設した特別養護老人ホーム真心の園を中核施設とする当法人は、今年開設54年を迎えます。初代中川原寿恵子理事長が命懸けで息子のために作り上げた真心の園は、寿恵子理事長亡き後、伊東哲夫様、中嶋一六様などを初めとして、地元のいろいろな方々にお支えいただき、今日まで地域と共に歩んで参りました。私が今日まで何とか理事長を務めることができましたのも、まさにそのような方がたのお力添えの賜物でした。この場をお借りして、深くお礼申し上げます。

～（省略）～

椎原寿恵会の理念、共生、奉仕、拓生の三つの言葉について、少しお話ししたいと思います。

福祉の勉強を始めた頃、佐賀県下あるいは全国の法人には、それぞれに特徴ある理念が掲げられており、地域や職員への情報発信が重要だと気付き、佐賀と鹿児島島の事業所が共通の理念で同じ目標に向かっていけるように、椎原寿恵会にとってのシンボルとなる理念、三つの言葉をどのようにしようかと模索していました。そして、かせだフレンドホームを開設してしばらくした頃、当時の加世田市教育長、山鹿敏夫先生に久しぶりに再会したのです。山鹿先生は、私が鹿児島大学附属中学校1年生の時の担任で、私が所属した歴史クラブの部長先生でもありました。人格温厚で、学識が高く、とても尊敬していた先生でした。山鹿先生は、私の福祉の仕事に非常に興味を持っていただき、私はそれまで経験した浅薄雑多なお話をさせていただき、加えて、薬の副作用で聾啞者となった主人の弟、中川原孝のこと、アメリカで、全盲や片足切断の障害者でも健康な人と同じようにスキーを楽しんでいる話などをしたところ、熱心に聞いてくださいました。人としてこの世に生を受け、たった一度しかない人生をどのように過ごし、終わるか。ハンディキャップのあるなしに関わらず、本人が努力して望むならば、チャンスは平等に与えられなければならないし、幸せになる権利もまた平等であるべきではないかなどと、随分と知ったかぶりのことを申し上げたような気がします。そして、山鹿先生が、三和子さんの福祉に対する思いを聞いて浮かんだ言葉があるとおっしゃってくださったのが、共生、奉仕、拓生という3つの言葉でした。私は、誰にでもわかりやすく、皆の心の中にスーッと入っていくこの3つの言葉をとても気に入りました。特に、最後の、“拓生”という言葉は辞書にはない山鹿先生の造語ですが、主人の弟やいろいろな障害者を持って頑張っている方々への応援メッセージとして、あるいは、悩みながら人生を切り拓いて前に進もうとしている人たちへのエールとして、私の気持ちにぴったりの言葉でした。

初代中川原寿恵子理事長は、慈母観音の心でお年寄りを慈しむ介護を目指されました。私は、その後を引き継ぎ、共生、奉仕、拓生という3つの理念を掲げ、人に寄り添い、助け合い、ともに人生を切り拓いて、最後までその人らしい人生を過ごしていただく介護福祉を目指しました。そしてそれは私にとってまだまだ道途上であり、私から引き継いだ中川原章新理事長率いる椎原寿恵会の今後に期待している所です。

～（省略）～

現在の私は、両親が創設した有馬病院で、古くなった病院を建て替え、地域医療活動を中心に活動しています。今後は有馬病院を核として、共生、奉仕、拓生の輪を南薩医療圏全体に広げ、医療福祉のネットワークを作り上げたいと思っています。幸い、人間愛あふれる多くのスタッフに恵まれ、充実した毎日を過ごしています。少々高齢の域に達していますが、まだまだ世の中のためになりうると自分自身に言い聞かせながら頑張っております。

医療と介護は、人の人生を根っこで支える車の両輪です。椎原会寿恵会と有馬病院、まごころ医療館の連携がさらに深く充実し、さらには地域全体のネットワークへ広がっていくことが、椎原寿恵会の使命であり役割です。今回の中期計画作成は皆さんにとって初めてのことで、多くの気づきや迷いがあったことと思いますが、計画を実践することで理解し克服できることもまたたくさんあると思います。

4月からの新しい椎原寿恵会の船出を、嬉しくそして期待を持って待ちわびています。一緒に頑張ってお参りしましょう。

事業の変遷

＜社会福祉法人権原寿恵会 年表＞			鹿兒島	
1968	昭和43年	12月	社会福祉法人 寿恵会設立	
1969	昭和44年	5月	特別養護老人ホーム真心の園(定員50人)開設	
	〃	10月	増築工事竣工 定員70人認可	
	〃	11月	皇太子殿下 真心の園を行啓	
1976	昭和51年	4月	真心の園 定員120人認可	
	〃	10月	秩父宮妃殿下 真心の園をご訪問	
1979	昭和54年	4月	真心の園 定員130人認可	
	〃	11月	開設10周年記念式典挙行	
1982	昭和57年	4月	在宅老人短期保護事業(ショートステイ)開始	
1985	昭和60年	4月	大規模修繕工事竣工	
	〃		在宅老人入浴サービス事業開始	
1990	平成2年	2月	開設20周年記念式典事業	
	〃		大部屋解消工事	
	〃		デイサービス事業開始(B型)	
	〃		新築拡張工事(真心の園)竣工	
	〃	6月	ホームヘルプサービス(真心の園)開始	
1991	平成3年	7月	在宅介護支援センター(真心の園)開始	
1992	平成4年	4月	デイサービスセンター(B型からA型へ移行)	
1993	平成5年	2月	施設整備事業竣工	
	〃		・大規模修繕	
	〃		・在宅介護支援センター	
	〃		・ショートステイ専用居室(20床)	
1994	平成6年	4月	在宅高齢者等日常生活支援事業(給食サービス)開始	
1995	平成7年	10月	在宅福祉事業推進功績により厚生大臣表彰	
1996	平成8年	4月	鳥栖市高齢者福祉施設(中央)受託事業開始	
	〃		・在宅介護支援センター(中央)	
	〃		・ホームヘルプサービス(中央)	
	〃		・デイサービス(B型E型)(中央)	
	〃	10月	ミドルステイ(真心の園)開始	
	〃		ホリデイサービス(中央)開始	
1997	平成9年	4月	デイサービス(中央)時間延長開始	8月
1998	平成10年	3月	施設整備事業竣工	8月
	〃		個室新築工事	10月
	〃		既設大部屋解消工事	
1999	平成11年			9月
	〃			
2000	平成12年	6月	ケアハウス花みず木開設(定員30名)	4月
2001	平成13年			4月
	〃			
	〃			
	〃			
2002	平成14年			10月
	〃			
2004	平成16年	10月	グループホーム和が家開設(定員18名)	4月
2006	平成18年	3月	グループホームみどりヶ丘開設(定員18名)	4月
	〃			6月
	〃			10月
	〃			
	〃			
	〃			
2007	平成19年	4月	みどりヶ丘保育園開園	
2008	平成20年	6月	権原寿恵会設立、合併により社会福祉法人権原寿恵会となる	
2009	平成21年	2月	中川原章顧問、高松宮妃癌研究基金学術賞を受賞	
2010	平成22年	4月	鳥栖市鳥栖西地区地域包括支援センター委託開始	
2012	平成24年	10月	真心の園訪問看護ステーション事業開始	
2013	平成25年	11月	特別養護老人ホーム真心の園改築オープン、同時に本部移転	11月
2014	平成26年			4月
2017	平成29年			11月
2018	平成30年	2月	中川原章顧問、比較腫瘍学常陸宮賞を受賞	
	〃	4月	事業所内保育所まごころ保育園開園	
2019	令和元年			6月
	〃			
2020	令和2年	4月	住宅型有料老人ホーム グランドハウスまごころ 開設	
2021	令和3年	6月	中川原章新理事長就任 中川原三和子前理事長は会長へ	4月
	〃			6月

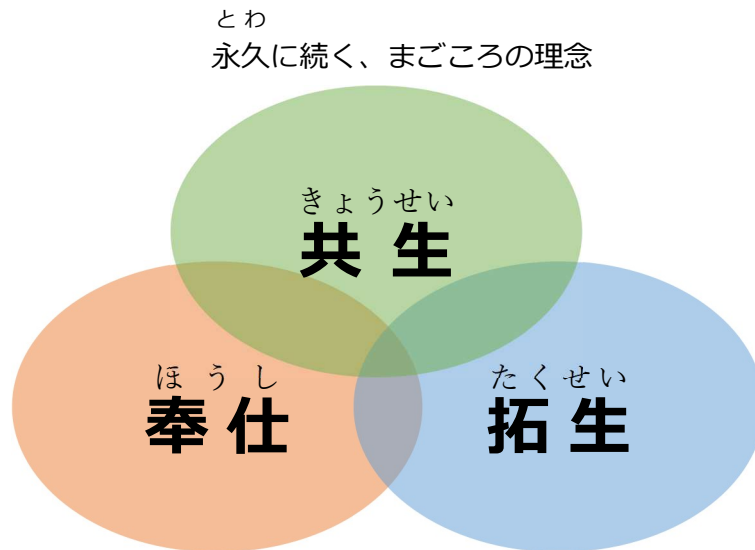
法人理念と将来ビジョン

法人の基本理念

椎原寿恵会は

- ・ 地域の中で支え合いながら生きる「共生」
- ・ 相互扶助の精神を重んじる「奉仕」
- ・ 一人ひとりの自立した人生をきり拓いていく「拓生」

という三つの理念をかかげ、常に人の「まごころ」に寄り添いながら、「慈愛の心」を注いでいきます。



将来ビジョン

常に人の「まごころ」に寄り添い、
高齢者、障がい者、園児、とその家族、それを支える職員、
さらに地域の人々の笑顔が輝き、共に生きる地域社会を目指します

経営改善の方向性

法人の理念に基づき、以下の方針で経営改善を進める。

人材の確保とその育成を根幹とし、技術革新による事業・運営の効率化を積極的に図る。

- ・人材の確保とその育成に努める。
- ・利用者や家族に笑顔で接し、接遇を大切にする。
- ・働き方改革を持続し、職場環境の改善を進める。
- ・ICTやAI等の導入により、職員の負担軽減と仕事の効率化を図る。
- ・職場の誰もが、経営者としての意識を持ち、経営に参加する。

以上の結果、

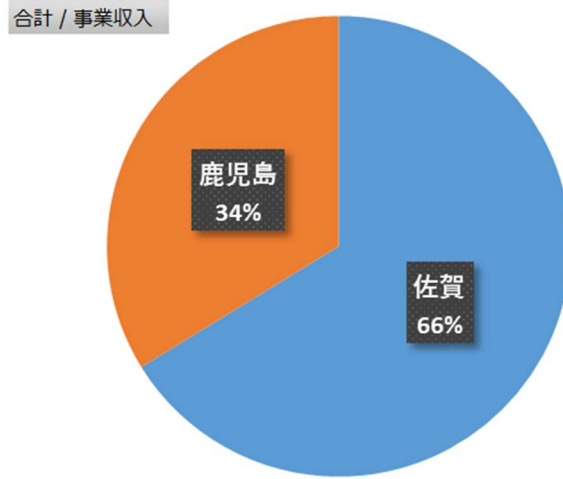
- ・全員参加の経営を実現する。
- ・利用者と家族に喜びを与え、求められる介護・福祉を提供する。
- ・地域社会における共生・奉仕・拓生を実現する。

経営責任者の責務

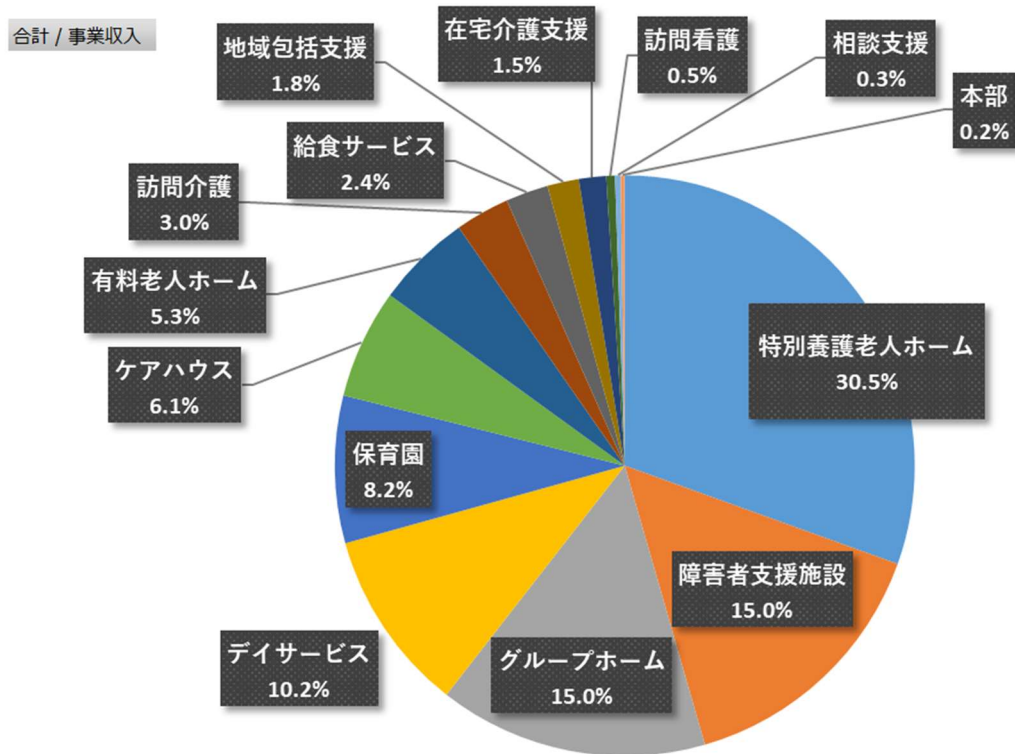
- ・社会的弱者に笑顔と力をもたらす経営を行う。
- ・常に収支の改善を怠らず、適正な利益の確保に努める。
- ・利益の還元は、将来を見据えた法人の事業展開、職員のための福利厚生の上昇、地域社会への貢献に対し行う。
- ・全ての職員を大切にし、生活を保障する。
- ・職員一人一人の能力を引き出し、育てる。

法人の事業

事業の規模



事業収入のエリア構成比



事業収入の事業種別構成比

事業所・連携医療機関一覧

事業所の一覧

■ 佐賀事業部	■ 鹿児島事業部
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別養護老人ホーム真心の園 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250 番地 1 居室 ユニット型個室 介護老人福祉施設 139 名 ● ケアハウス花みず木 〒841-0076 佐賀県鳥栖市平田町 3106 番地 8 定員 30 名（全室個室） ● 住宅型有料老人ホームグラントハウスまごころ 〒841-0076 佐賀県鳥栖市平田町 3106 番地 23 定員 30 名 ● グループホーム 和が家 〒849-0114 佐賀県三養基郡みやき町大字中津隈 3864 番地 定員 18 名（全室個室） ● グループホーム みどりヶ丘 〒841-0084 佐賀県鳥栖市山浦町 2621 番地 1 定員 18 名（全室個室） ● 鳥栖市中央 在宅介護支援センター 〒841-0037 佐賀県鳥栖市本町 3 丁目 1494 番地 10 24 時間体制 ● 真心の園 デイサービスセンター 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250 番地 1 定員 30 名 月曜日～土曜日 8:30～17:30 祝日含む ● 真心の園 訪問入浴サービス 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250 番地 1 営業日 毎週月曜日から金曜日まで 営業時間 10:00～13:00 ● 鳥栖市中央 デイサービスセンター 〒841-0037 佐賀県鳥栖市本町 3 丁目 1494 番地 10 定員 35 名 月曜日～土曜日 8:30～17:30 祝日含む ● 真心の園 短期入所生活介護事業（ショートステイ） 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250 番地 1 短期入所生活介護（ショートステイ） 11 名 24 時間（365 日体制） 送迎 9:00～17:00（日曜・祝日も実施） ● 真心の園 ホームヘルパーステーション 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250 番地 1 年中無休・24 時間対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者支援施設 かせだフレンドホーム 〒897-0004 鹿児島県南さつま市加世田内山田 2580 番地 定員 施設入所支援事業：54 名 生活介護事業（通所）：10 名程度 短期入所事業：4 名 日中一時支援事業：4 名 ● ケアハウスかせだ 〒897-0004 鹿児島県南さつま市加世田内山田 2510 番地 定員 30 名（全室個室） ● グループホーム 金峰やすらぎ館 〒899-3511 鹿児島県南さつま市金峰町宮崎 3992 番地 1 定員 18 名（全室個室、冷暖房完備） ● グループホーム 椎原館 〒897-0132 鹿児島県南九州市川辺町中山田 1892 番地 定員 9 名 ● グループホーム 有馬館 〒897-0008 鹿児島県南さつま市加世田地頭所 1600 番地 定員 9 名（完全個室・冷暖房完備） ● 認知症対応型 通所介護事業 デイサービス 金峰やすらぎ館 〒899-3511 鹿児島県南さつま市金峰町宮崎 3992 番地 1 定員 12 名 営業日 月曜日～土曜日（祭日含む） 営業時間 8:00～17:00 ● 認知症対応型 通所介護事業 デイサービス 遊逢 〒897-0004 鹿児島県南さつま市加世田内山田 2580 番地 定員 12 名 営業日 月曜日～土曜日（祭日含む） 営業時間 8:00～17:00（延長対応） ● 住宅型有料老人ホーム クオーレかせだ 〒897-0008 鹿児島県南さつま市加世田地頭所 1600 番地 定員 30 名 完全個室洗面台完備 30 床（うちトイレ付居室 7 床） ● 相談支援事業所 彩 ～いろどり～ 〒897-0004 鹿児島県南さつま市加世田内山田 2580 番地 か せだフレンドホーム内 営業日 月曜～金曜 8:30～17:30

<ul style="list-style-type: none"> ● 真心の園 訪問看護ステーション 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250 番地 1 月～土曜日および祝日 8:30～17:30 * 営業時間以外でも 24 時間受付可能 ● 鳥栖市 鳥栖西地区 地域包括支援センター 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250 番地 1 事業実施主体 鳥栖市より業務委託（平成 22 年 4 月 1 日～） 担当地区 鳥栖市麓地区・旭地区 開設時間 8:30～17:30（緊急時 24 時間連絡可能な体制） ● 真心の園 給食サービス 〒841-0076 佐賀県鳥栖市平田町 3106 番地 8 配食時間 昼食（概ね 10:20～12:30）、夕食（概ね 15:20～17:30） 利用料金 1 食 400 円 ● みどりヶ丘保育園 〒841-0084 佐賀県鳥栖市山浦町 2621 番地 1 定員 110 名 通常保育 7:00～18:00 開園日 月～土曜日 延長保育 19:00 まで ● まごころ保育園 〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町 1250 番地 1 定員 19 名（うち地域枠 9 名） 	<ul style="list-style-type: none"> ● ほほえみホームヘルパーステーション 〒897-0004 鹿児島県南さつま市加世田内山田 2580 番地 営業時間 毎日 8:30～17:30 ● 有料老人ホーム セレーノ 〒897-0006 鹿児島県南さつま市加世田本町 18-3 定員 27 名 ● デイサービス 有馬 〒897-0006 鹿児島県南さつま市加世田本町 18-3 営業日 月～土曜日 営業時間 9:00～16:15 定員 30 名
--	--

連携医療機関

佐賀	鹿児島
<ul style="list-style-type: none"> ● 医療法人 まごころ医療館 〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上 2 丁目 210 番地 午前 9:00～12:30、午後 14:00～18:30 休診日 木曜・土曜午後・日・祝日 診療科：内科、外科、消化器外科、呼吸器内科、循環器科 整形外科、麻酔科（ペインクリニック） リハビリテーション、リウマチ科 病床数：19 床 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療法人椎原会 有馬病院 〒897-0008 鹿児島県南さつま市加世田地頭所 570 午前 9:00～12:30、午後 14:00～18:30 休診日 木曜・土曜午後・日・祝日 診療科：内科、外科、脳神経内科、麻酔科・ペインクリニック リハビリテーション科、整形外科、婦人科 胃腸科リハビリテーション、リウマチ科 病床数：79 床

第一期中期経営計画 2022～2026

骨子

理念の遂行

1. 「共生」

住み慣れた地域で親しい人に囲まれて社会連帯の中で心豊かに生きましょう。

2. 「奉仕」

社会は一人のために、一人は社会のために、力を尽くし、喜びや悲しみを分かち合いましょう。

3. 「拓生」

誰にとってもかけがえのない人生です。

いつもその人らしい輝きを放ちながら、一生を築いていきましょう。

理念に基づく経営方針

1. 高齢者、子ども、障がい者等弱い立場の人たちの幸福のために、献身と慈愛の心で接し、笑顔
を絶やさない。
2. 職員がお互いを尊重し、創意工夫を発して、やり甲斐を感じる職場にする。
3. 「共生・奉仕・拓生」の価値を高めるために、理事長は明確な経営方針を全職員に示す。
4. 時代に適応した健全で透明性のある経営及び運営を行う。
5. 適正な経営計画に基づき、G-PDCA サイクルを回す。

理念遂行のための事業方針

1. 「共生」を実現するための事業計画

1) 地域社会の人々と共生し、全職員が共に成長する社会福祉法人椎原寿恵会を創る。

- 地域包括ケアシステムの構築をさらに推進するため、以下の事業を展開する。

- 介護医療連携センター
- 地域包括支援センター
- 給食サービスセンター
- 訪問看護ステーション
- 在宅サービス
(ホームヘルパー、デイサービス、居宅介護支援、訪問入浴サービス等)
- 高齢者施設
(特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、他)
- 障がい者支援施設
- 保育園、病児保育
- 相談支援センター
- その他

- 地域社会における介護と医療の連携を推進する。
- デジタル化によるネットワークを構築し、その利活用を進める。
- 広報を強化し、職場内外の情報交換の場を広める。
- AI 及び ICT 導入により、労働負荷の軽減と効率化を図る。
- 接遇、人材育成・研修を積極的に展開する。
- 人材の確保・定着を図る。

2) 社会の貧困や障がい、疾病、差別など、現代社会が抱える複雑な負の課題を背負う利用者（入居者等）、家族、職員を共に助け合うための仕組み作りを工夫し、推進する。

- 福利厚生、健康管理・増進の充実を図る。
- 給与体系、人事評価制度の定期的見直しを行う。
- 障がい者の雇用促進を積極的に行う。
- それぞれの国の課題を背負う外国人労働者を積極的に受け入れ、思いやりのある指導と支援に努める。

2. 「奉仕」を実現するための事業計画

- 1) 利用者（入居者等）に寄り添い、本人の意向を尊重して、一人ひとりの状態に合った介護・看護・口腔ケア・褥瘡予防・認知症ケア・保育等に努める。
- 2) 連携医療機関と協力し、必要で適切な介護・医療・保育を提供する。
- 3) 可能な限り、無理のいかない介護・保育・支援に努める。
- 4) 職員は自己の健康管理に努め、定期的な健康診断を受けて疾病の予防に努める。

3. 「拓生」を実現するための事業計画

- 1) 「衣・食・住」の原点を大切にし、それぞれの質と価値を高めるべく努める。
また、それらを楽しめるところまで高めるための努力を評価し、常に利用者と家族の心の問題を大切にする。
- 2) 利用者と家族に笑顔をおくる接遇を促進し、常に研鑽を積む。
- 3) 利用者や家族の希望に添い、職員の特技を活かせる職場を作る。
- 4) 職員が笑顔で働ける職場を作る。
- 5) 職員が希望するレクリエーションや啓発活動を積極的に支援する。
- 6) 職員自らの研究、研修、資格取得を積極的に推進する。

重点事業計画

- **介護医療連携センター・広報室の設置**

- 介護医療連携センターの新設
- 広報室の設置（広報担当から組織化）

- **人材確保・育成の推進**

介護人材の確保と職員の育成に力を注ぎ、職員が成長することで利用者への質の高いサービスを提供する。

- **デジタル化の推進**

- 介護、保育、障がい者支援施設への ICT、AI 等の積極的導入
- 利用者の ADL 向上、元気の醸成、健康の回復・向上
- 職員の労働負荷の軽減、仕事の効率化、残業ゼロ、働く意欲の増進

- **「心」の課題に向き合う**

- 死を迎える意味と、職員の接し方
- 老いても美しく
- 人生最後の空間を豊かに
- 社会復帰、在宅復帰への取り組み方
- 施設における、言葉の力、音の力、見ることの力、味の力の研究と社会実装

- **「地域包括ケア・ステーション」ネットワークの構築**

担当地域（鳥栖市西地区）における地域包括ケアシステムの構築に向け、地域社会と連携する複合的ネットワークとなる「地域包括ケア・ステーション」を構築する。

- **職員の自発的発想と意欲の醸成**

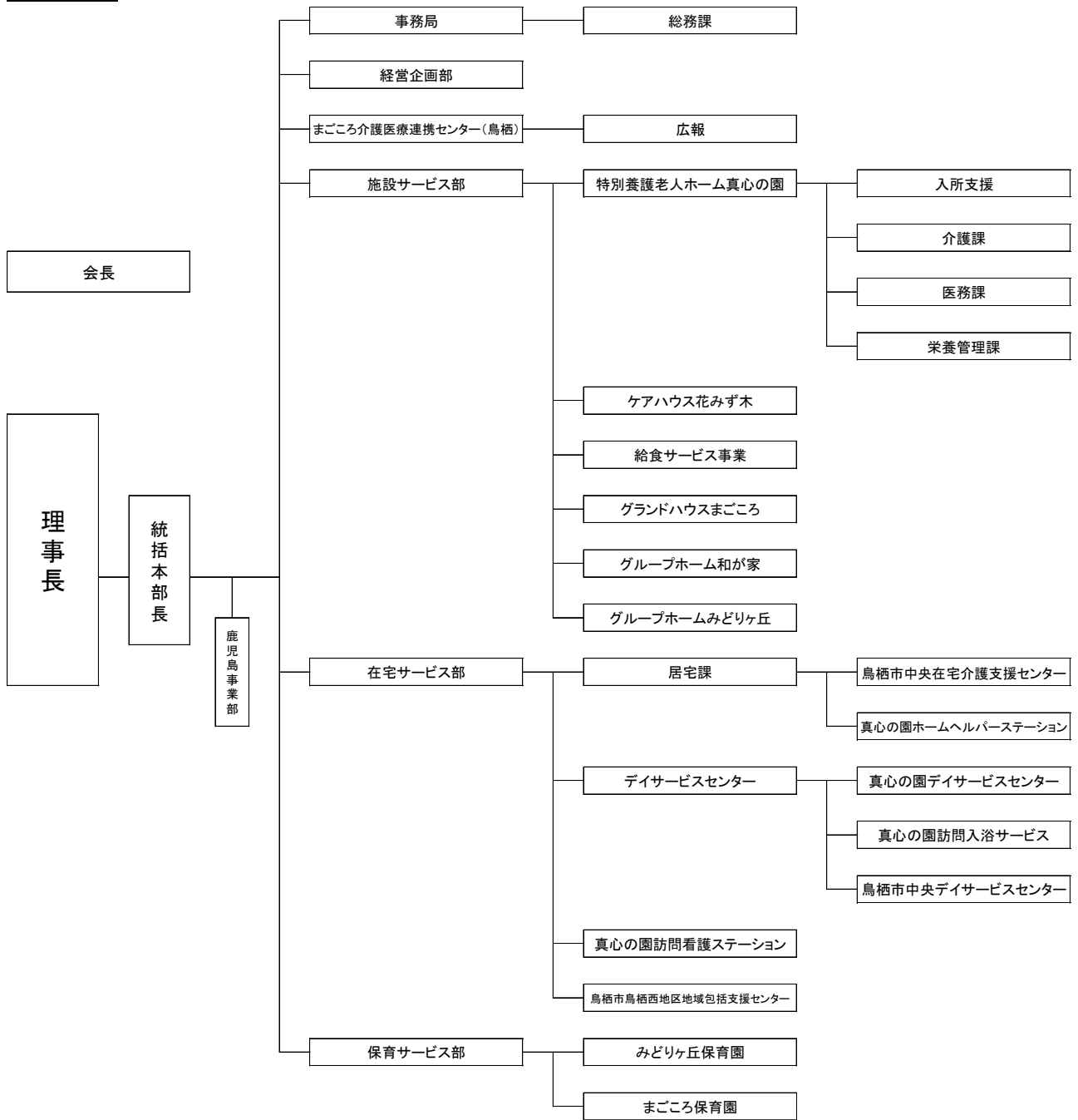
- 現場からの新しい発想とその実現を後押しする。
- グループ活動、プロジェクトの推進
- レクリエーションの増進
- 各種委員会の活性化
- SDGs を導入した発想とその具現化
- 各種褒賞制度の設置

- **人事評価、給与体系の見直し**

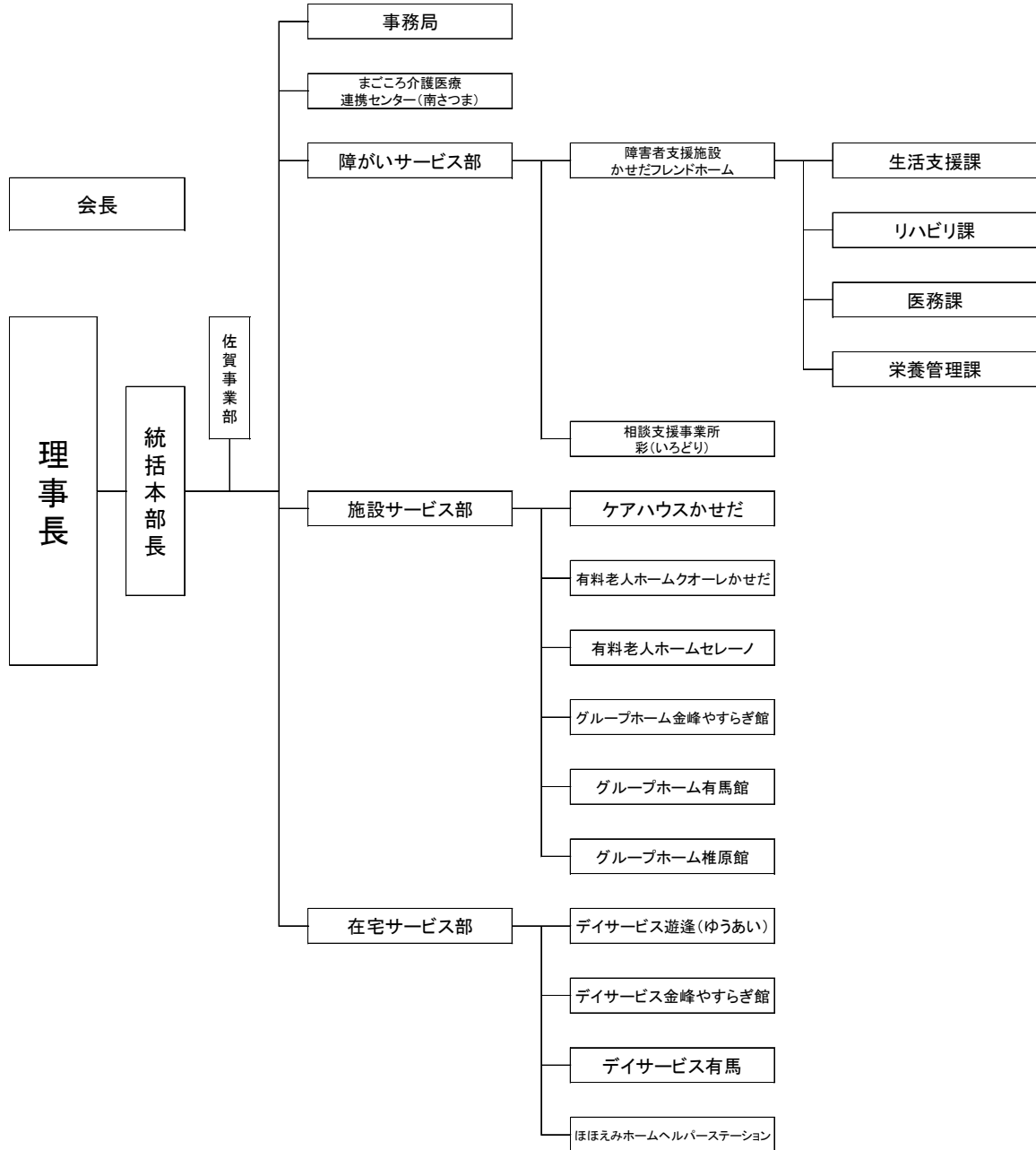
- **新規事業の展開**

組織体制（令和4年4月1日）

佐賀事業部



鹿児島事業部



法人5カ年収支計画

5カ年収支計画・財務目標設定

- ① まごころ介護医療連携センターを設置し、利用者の安定確保を目指す
 ② 5年以内に最終収益（サービス活動収支差額）5%以上を目指す

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2023.03	2024.03	2025.03	2026.03	2027.03
介護保険事業収入	1,290,999	1,339,784	1,434,944	1,475,940	1,511,924
老人福祉事業収入	281,237	290,640	293,978	297,328	300,343
保育事業収入	164,090	159,100	159,100	159,100	159,100
障害福祉サービス事業等収入	309,424	310,712	315,303	316,103	317,211
医療事業収入	12,936	10,596	13,248	15,012	15,888
補助金収入	0	0	0	0	0
その他の収入	10,021	9,321	9,321	9,321	9,321
事業活動収入計(A)	2,068,707	2,120,153	2,225,894	2,272,804	2,313,787
人件費支出	1,376,348	1,401,772	1,430,705	1,444,374	1,464,865
事業費支出	309,807	311,418	313,060	314,651	316,262
事務費支出	240,044	217,089	215,627	216,315	218,553
事業活動支出計(C)	1,926,199	1,930,279	1,959,392	1,975,340	1,999,680
事業活動収支差額(D=A-C)	142,508	189,874	266,502	297,464	314,107
固定資産取得支出(E)	37,029	45,663	36,896	38,982	33,205
施設整備償還金(F)	30,644	30,600	30,577	30,533	26,930
当期資金収支差額(D-E-F)	74,835	113,611	199,029	227,949	253,972
減価償却費(E)	179,211	182,970	200,055	202,761	204,117
サービス活動収支差額(D-E)	-36,703	6,904	66,447	94,703	109,990